開講科目名 Course	監査役監査論特殊研究／Advanced Law and Practice of Corporate Auditor
時間割コード Course Code	30110
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程／
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度／Academic Year　前期
曜限 Day, Period	金／Fri 5
開講区分 semester offered	前期／.
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	佐藤　敏昭
科目区分 Course Group	展開科目
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor （担当教員所属名 Affiliation）	佐藤　敏昭（経営学部）
授業の目標	
授業の概要	監査役は、コーポレートガバナンスの中核となる主体者である。昨今の動向からしても、ますます監査役監査の役割が期待されている。その根拠法令は会社法・会社法施行規則・会社計算規則といった一連の会社法系の法令であるが、まずは、この法令群を理解することから始め、外国との比較なども行う。最も重要なのは、監査役の実際の活動状況であるが、その規範となる実務指針などについても触れる。 【授業計画】 第１回　監査役監査の特性と枠組み 第２回　各国のガバナンス制度 第３回　現行会社法における監査役制度（その１） 第４回　同上（その２） 第５回　同上（その３） 第６回　同上（その４） 第７回　同上（その５） 第８回　同上（その６） 第９回　同上（その７） 第１０回　内部統制と監査役 第１１回　企業情報開示と監査役（その１） 第１２回　同上（その２） 第１３回　最近の監査役をめぐる議論（その１） 第１４回　同上（その２） 第１５回　総括 【授業の目標】 税理士になると、社外監査役を依頼されることがある。その際には、会社法を軸に各種の知見が必要となってくる。社外監査役を依頼をされても請け負うことができる下地をつくることが目標である。 【授業の評価】 専ら授業への参加姿勢で評価する。レポートや試験は実施しない。出席することが前提であるが、欠席する場合は事前に連絡すること。
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	

2022/03/26現在

テキスト	佐藤敏昭「監査役になったら一番はじめに読む本」東洋経済新報社。 非常事態宣言などでリモート授業になる場合は、毎回レジュメを配信する。
参考書	都度、指示する・
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	